

自分で仕分けた商品が店頭へ



(株)北海道クラン

文房具がぎっしり詰まった重い荷物を運ぶため、ケガをしないように軍手をはめて「仕分け場所を間違えると別の物を発送してしまったりするので、緊張します」。生徒たちは汗をかきながら、段ボールに貼ってあるシールの番号と棚番号が一致するように、真剣な表情で任された品物を仕分けています。「棚の場所がよくわからなくて行ったり来たり無駄な動きが多いし、ひとつひとつ何度も確認しながら商品を仕分けていくので、すごく時間がかかってしまいます」と、一切無駄な動きがない従業員の作業を見て、感慨ひとしお。大きい荷物は何人かで協力して運びます。「高い所に重い荷物を置くのが大変でした」と女子生徒。

しばらくすると従業員と仲良くなり、「全道のコクヨ商品はここから出ているんだよ、と教えてもらったり、自分で仕分けた物が店頭へ並ぶんだと思うとワクワクします。やりがいのある仕事ですね」「私たちのことを信用して多くの仕事を任せてくれたことが、とてもうれしかったです」。余裕が出てきて、皆にこやかな表情で作業をしていました。

thank you mail

札幌市立東白石中学校 2年 横窪 綾奈

1つ1つ商品を棚にしまっていく時、入れることに達成感がありとてもうれしかったです。また、クランの方も信用して様々な仕事をまかせてくださり、とても感動しました。いろいろな仕事をして、自分でも少しは役に立つことができたと思うし、自分にもこんなに出来ることがあると分かり、うれしかったです。



初めて知った「裏方の仕事」



「家での洗濯と内容はあまり変わらないと思っていましたが、全く違いました」驚きを隠せないその光景は、見たことのない機械が所狭しと並んでいる工場でした。「洗濯機がどれかわからない。こっちはなんだろう」と、疑問ばかりの様子。洗い終わった衣類を、協力して効率良く仕分けていきます。「灯油の匂いがきついし、機械の熱で工場の中が暑いです」と、時折洋服を仰いだりして、一生懸命働きます。バーコードのスクリーンでは「ずっと下を向いているし、台が低かったため腰が痛くなりました。同じ作業を続けるのは大変なんです」と、少し疲れた様子ですが、頑張ります。もちろん楽しかったこともあったようで「洋服に防水加工をするのが一番楽しかったです」と、かけ残しが無いよう隅々まで丁寧に霧吹きをしている姿は、まるで職人。

「スーパーなど人の前で働くのが「仕事」だと思っていたけど、お客さんがいない所でもしっかり働く大切さを学びました。細かい仕事がたくさんあって、今日一日では覚えきれませんでした。もともと家で洗濯を手伝うのは嫌いではなかったので、ここの仕事に興味を湧きました」。従業員の方からもお褒めの言葉をいただいて、自信が湧いたようです。

thank you mail

札幌市立東白石中学校 2年 寺澤 雅人

この体験を通して一番学んだことは、仕事のつらさがよくわかったことでした。やっぱり大人の人は、つらい仕事でも、休まないことがわかりました。自分も将来働くようになったら、きびしくてもがんばりたいです。



苦手分野に挑戦!



「人と話すのが苦手なので、克服したくて接客業にチャレンジしてみました」と強い意気込みで働く姿は、とても頼もしく見えます。自分たちだけで接客できるように、お客さんがいないうちに何度もシミュレーションをして、仕事の流れを覚えていきます。照れくさかった「いらっしゃいませ!」も、何度か練習すると大きな声を出せるようになりました。お茶出しのときも「どうぞ」と笑顔もばっちり。注文をもらって出来上がったうどんを出すときに「器の向きに気を付けてね」とアドバイスをいただきました。「器にプリントされているお店のマークが、お客さんに向くように差し出すなんて、今まで意識したことがなかったので、気が付きませんでした。直接お客さんと接する仕事なので、細かいところまで気を遣うのは大切なことなんだなと思いました」と、勉強になったことがたくさんあったようです。「苦手なことに挑戦するのは苦しかったけど、体験してみて良かったです」「うどんに気持ちを込めて丁寧に作っていることもわかりました。自分が働くというのはまだまだ想像できませんが、今日のことが将来絶対に役に立つと思いました」。たった一日でたくましくなった姿は立派です!

thank you mail

札幌市立東白石中学校 2年 菅野 瑞希

お店の人がうどんにそそぐ愛情に感動しました。お客さんが帰るときに、レジで「おいしかったよ」というような顔で見てくれるのがうれしかったです。この体験を通して、大人になって社会に出て働くということは、すごく大変なことだなと思いました。将来働くためには、いま学校でしっかり勉強しなきゃいけないことがわかりました。